

市民のみなさまへ平成25年度社協会費ご協力のお願い

社会福祉協議会は民間の社会福祉活動を推進することを目的とする非営利の民間組織であり、昭和26年(1951年)に制定された社会福祉事業法(現在の「社会福祉法」)に基づいて設置されています。それぞれの地域に暮らす住民のみなさまや民生委員児童委員、社会福祉施設の関係者、保険・医療・教育などの関係機関の参加・協力のもと、様々な福祉サービスや相談活動、ボランティアや市民活動の支援などその地域の特性に応じた地域福祉活動に取り組んでいます。社会福祉協議会は会員制となっており、毎年市民のみなさまへ一世帯あたり500円(年額)の一般会費をお願いしております。ご協力につきましては市内行政区の区長様を通じてお願いしておりますので、本年度も何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。



ひよこのお知らせ

おともだちつくる！

子育ての息抜きに遊びに来ませんか

おもちゃ遊び、ボールプール、授乳・お昼寝スペース、保護者のための喫茶コーナーなどを用意してみなさまのお越しをお待ちしています。
(運営：下田市社会福祉協議会 協力：しもだ子育て応援隊ぽっぽ)

ひよこサロン

- 時間／午前10時から正午
- 入場無料（未就学児と保護者対象）

ひよこルーム（場所は下記の通りです）

- 時間／午前10時から午後3時
- 遊・VIVA!入場料 大人・小人(2歳以上)一律100円

開催日	内 容	会 場
5月23日(木)	ひよこサロン 手遊びと絵本/南伊豆託児ボランティア	道の駅開国下田みなと4F
6月13日(木)	ひよこサロン 劇と読み聞かせ/アンデルセン	道の駅開国下田みなと4F
7月6日(土)	ミニ遊・VIVA!ひよこルーム	浜崎小体育館
7月18日(木)	ひよこサロン 人形劇/人形劇団あゆたみ	道の駅開国下田みなと4F

※体調不良の方の入場は、ご遠慮いただく場合があります。

ひよこサロン



妊婦の方も歓迎
ぜひ遊びに来て下さい

暮らしの相談開催日程【無 料】

相談やサービスを提供する上で得た情報は、本人の同意なく第三者に提供しません。

福 祉 相 談

時 間 9:00～17:00

相 談 員 社協・関係団体

問合せ先 下田市社会福祉協議会：電話 22-3294
福祉サービスや利用手続き、日常生活における心配ごと等を関係機関と連携して問題解決のお手伝いをします。

月～金曜日(祝日を除)

お待ちいただくことがないよう、必ず事前にご連絡ください。

ボランティア相談

時 間 9:00～17:00

相 談 員 社協・関係団体

問合せ先 下田市社会福祉協議会：電話 22-3294
ボランティアをしたい人、力を借りたい人、希望にあった活動のご案内をします。

月～金曜日(祝日を除)

介 護 相 談

時 間 9:00～17:00

相 談 員 社協介護支援スタッフ

問合せ先 下田市社会福祉協議会：電話 22-3294

月～金曜日(祝日を除)

心配ごと相談

相 談 員 下田市民生委員児童委員

毎月第2・4水曜日

日 程	時 間	場 所
5月22日(水)	10:00～15:00	下田市役所2階会議室
6月12日(水)	10:00～15:00	下田市役所2階会議室
6月26日(水)	10:00～15:00	下田市役所2階会議室
7月10日(水)	10:00～15:00	下田市役所2階会議室
7月24日(水)	10:00～15:00	下田市役所2階会議室

※各々の相談において該当日が祝日の時は休みとなります。

社協だよりNo.99

平成25年5月1日発行 発行所：社会福祉法人下田市社会福祉協議会／静岡県下田市4丁目1番1号 TEL 0558-22-3294 FAX 0558-22-0584 E-mail: csw-shimo@po2.across.or.jp 印刷・製本：株式会社アイドマ

わがまち下田に住み続けたい 社協だより

- ・平成25年度事業計画
- ・日常生活自立支援事業
- ・生活福祉資金貸付
- ・社協会費ご協力のお願い
- ・おともだちつくる！ひよこのお知らせ
- ・暮らしの相談開催日程
- ・寄付をくださったみなさま
- ・収集ボランティア活動
- ・ボランティア連絡協議会創立10周年記念

ふだんの
くらしの
あわせ

下田市ボランティア連絡協議会 創立10周年記念式典

下田市ボランティア連絡協議会は、ボランティア同士が連携できるよう親睦と連絡、協議、協力することを目的として作られました。創立から10年。今までの活動を振り返り、今後さらなる発展をするため、この記念大会を開催します。下田市内で活動するボラ連加入団体29団体の活動も紹介しますので、ぜひご来場ください。

日 時：平成25年6月7日(金) 13:30～

会 場：下田市民文化会館大ホール

内 容：下田市ボランティア連絡協議会
10年の歩みと加入29団体の活動
紹介を行います。

『みんなが誰かのために』寄付者一覧(3月～4月)

下田市社会福祉協議会へ寄付をくださったみなさまです。ありがとうございます。みなさまのお気持ちを大切に活かします。

〈現金〉 外岡まつ江 様 秋葉正廣 様 増田林太郎 様

進士 洋 様 朝日中学校2期生同窓会 様

〈物品〉 外岡ひで子 様(手帳入れ用布ふくろ100個)〈順不同〉

収集ボランティア活動者一覧(3月～4月)

〈古 切 手〉 土屋穂波 様 下田市役所総務課 様

〈プルタブ〉 明治安田生命下田営業所 様

〈順不同〉



下田市社会福祉協議会平成25年度事業計画

《基本方針》

少子・高齢化、核家族化などにより社会福祉に対する需要は増大かつ多様化し、それぞれのまちでの地域福祉の推進が一層求められてきております。社会福祉協議会は『社会福祉法』において『地域福祉の推進を図ることを目的とする団体』として位置づけられ、住民参加による地域福祉の推進を支える中核的な存在として大きな役割を担っています。当会におきましても組織基盤や財政基盤の安定強化を図り、地域活動やボランティア活動の推進、様々な福祉サービス・情報の提供など、多様化する課題に柔軟に即応できる体制の整備を進めると共に、効率的で効果的な事業運営によってみなさまに信頼されるサービスの提供に努めてまいります。地域福祉活動計画に定めた基本理念『わがまち“下田”に住み続けたい』は、市民の誰もがとて大切にしている想いです。より良い暮らしを目指し、みなさまと共に地域の力を高める活動に取り組んでまいります。

《重点目標》

1. 地域福祉活動の推進
2. 福祉相談事業・日常生活自立支援事業の推進
3. 介護保険事業の安定経営とサービスの向上
4. 下田市総合福祉会館の適正な運営管理
5. 健全なる財政運営の実施

《主要事業》

1 法人運営

地域福祉サービスの企画と実施に向けた組織運営の充実に努め、関係機関・団体との連携協力を進めながら、みなさまの期待に対応できる組織活動の充実に努めます。

2 地域福祉推進事業

みなさまと共に地域の課題解決に取組み、その地域に根ざしたサービスを展開します。

- (1) 小地域福祉活動の推進～住民の支え合いとふれあい
- (2) 暮らしの相談
- (3) 福祉教育の企画・コーディネート
- (4) ボランティアセンター運営～ボランティアの育成、広報、活動に関する相談と情報提供
- (5) 災害ボランティア本部機能の強化
- (6) 子育てサロンの企画と運営

3 福祉サービス事業

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、社協ならではのサービスの実施に努めます。

- (1) 日常生活自立支援～高齢や障害などにより判断能力が低下された方の福祉サービス利用援助と、日常の金銭管理を支援 ^{*1}
- (2) 生活福祉資金貸付～高齢者世帯・障害者世帯・低所得世帯などに対して、生活の安定と自立を目的とする資金貸付を行います ^{*2}
- (3) 家族介護支援
- (4) ファミリーサポートセンターまかせて会員の養成
- (5) 手話奉仕員の養成
- (6) 高齢者等給食サービス
- (7) 行旅死亡人慰霊祭
- (8) 車椅子等の貸与

4 共同募金配分金による地域活動助成

共同募金（赤い羽根募金・歳末たすけあい募金）を財源とする地域活動を展開します。

5 指定管理者受託施設管理（下田市総合福祉会館）

下田市から指定管理者の指定を受けて、下田市デイサービスセンターと老人福祉センターの適正な管理運営を行います。

6 介護保険事業

介護保険サービス提供者として質の高いサービス提供を行います。さらに地域に根ざした組織の独自性を発揮し、利用者が地域で自立した生活ができるよう支援をします。

- (1) 居宅介護・居宅予防介護支援
要介護者や要支援者が指定居宅サービス等の適切な利用ができるよう介護支援専門員（ケアマネージャー）がサービス利用計画を作成し、その計画に基づいて関係事業者とのマネジメントを行います。
- (2) 訪問介護・介護予防訪問介護
ホームヘルパーが要介護者の居宅を訪問し、入浴・排せつ・食事などの身体介護や調理・洗濯などの生活援助を行います。
- (3) 通所介護・介護予防通所介護
下田市デイサービスセンターにおいて、食事・入浴などの日常生活上の支援と、生活行為向上のための支援を日帰りでを行います。

7 障害者支援

- (1) 障害者居宅介護事業（障害者総合支援法）
ホームヘルパーが障害者等の居宅を訪問し、入浴・排せつ・食事などの介護と生活援助を行います。
- (2) 障害者等移動支援
障害者・児が地域で自立した生活や余暇活動などに参加できるよう、社会生活に不可欠な外出の支援を行います。

*1 日常生活自立支援事業

（実施主体：都道府県社会福祉協議会）

あなたができるだけ住み慣れた地域で自立して生活できるようにお手伝い（援助）をします。



Q1 どんなお手伝い（援助）があるかな？

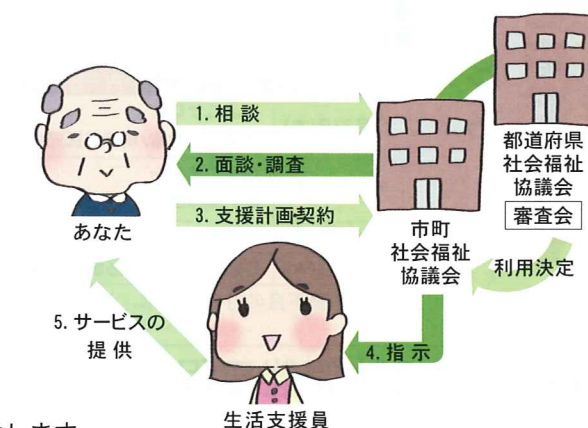
- ・福祉サービスを上手に利用するための情報提供や利用手続のお手伝い（援助）
- ・公共料金の支払いや年金受領の確認など、日常的なお金の管理のお手伝い（援助）
- ・通帳や証書など大切な書類の保管

Q2 どんな人が利用できるかな？

高齢者や障害者（知的障害、精神障害）等日常生活に不安があり、自己の能力で様々なサービスを適切に利用することが困難な方です。

Q3 どこに相談をするのかな？

相談はお近くの社会福祉協議会にてご相談ください。相談は無料です。もちろん秘密は厳守します。あなたの相談を受けた社会福祉協議会は具体的なお手伝いのための「支援計画」を作ります。そして「支援計画」に基づき契約を結んでサービスが始まります。（この契約はいつでも解約することができます）。利用希望者の契約を結ぶ能力（契約内容の理解の確かさ）について、各分野からの専門家で構成される『契約締結審査会』が確認を行います。



Q4 利用料はかかるのかな？

契約を結んだ上でお手伝い（援助）のサービスは有料です。

Q5 誰がお手伝いしてくれるのかな？

生活支援員という人があなたのもつとに伺って、サービスを提供します。

*2 生活福祉資金貸付

（実施主体：都道府県社会福祉協議会）

高齢者世帯や障害のある方のいる世帯、低所得世帯へ必要な資金をお貸しすると共に、相談支援を行うことで経済的な自立を促進し、安定した生活を送れるように支援する制度です。

Q1 どんな費用が借りられるの？

- ◆日常生活を送る上で、または自立生活のために一時的に必要な費用
- ・住宅の増改築などのために必要な費用
- ・けがや病気の療養のために必要な費用
- ・介護サービスを受けるために必要な費用
- ・福祉用具等の購入に必要な費用
- ・障害者用自動車の購入に必要な費用
- ・技能修得に必要な経費 など
- ◆緊急かつ一時的に生計の維持が困難な場合の費用
- ・医療費など臨時の支払いが必要なとき
- ・公的給付等（生活保護費、失業保険、初任給など）の支給開始までに必要な経費 など
- ◆学校（高等・大学等）に就学するために必要な費用
- ◆現在住んでいる不動産を担保とした生活費

Q2 誰が借りられるの？

- ・高齢者世帯（65歳以上の高齢者のいる世帯）
- ・障害者世帯（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方の属する世帯）
- ・低所得世帯（概ね市町民税非課税世帯程度）

Q3 いくら借りられるの？

・資金種類ごとに貸付限度額があります。お問い合わせください。

Q4 保証人は必要なの？

・原則保証人が必要です。

Q5 返済についてはどうすればいいの？

・最終貸付の日から据置期間を置いた後、毎月返済していただきます。

Q6 どこに相談すればいいの？

・お住まいの市町の社会福祉協議会または地区の民生委員へご相談ください。